



# 校長室だより

第7号 平成26年2月4日発行

大隅東小学校長 豊田 雅弘

<http://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/data/e651424>

## 「鬼は外 福は内」節分そして立春

昔の暦では、立春の前日が節分、今で言う大晦日にあたるのです。いろいろな習わしがあり、「鬼は外 福は内」という掛け声で豆まきをしたり、恵方をむいて巻き寿司を丸かじりしたり、いわしを焼いたり、その頭を棒に刺して表に飾ったり。これらは病気や厄を鬼に例え、それを払うという意味だそうです。その厄は、自分の心にも潜んでいるのです。

## 「竜退治の騎士になる方法」という本の紹介

先日、全校朝会で「竜退治の騎士になる方法」という本の紹介をしました。この本は岡田淳さんの作品で、偕成社から出版されています。この話に出てくる竜というのは、実は人間の刺々しい心のことなのです。しかし、この刺々しさは、トイレのスリッパをそろえることで消えていきます。話の内容を要約すると、次のようなことになります。

小学生が誰もいない教室に忘れたプリントを取りにきた時に、突然、竜退治の騎士ジェラルドに出会います。そして、ジェラルドはどうして自分が竜退治の騎士になったのかを話して聞かせるのです。ジェラルドは、小学生の時に竜退治の女の人と出会い、竜退治の騎士になる方法を教えてもらいました。その方法とは、トイレのスリッパをそろえることだったのです。

では、なぜトイレのスリッパをそろえることで竜を退治できるのでしょうか。実は、竜というのはみんなの心の底に潜んでいる刺々しい心だったのです。

トイレのスリッパを使ったあとは、スリッパをそろえて出てきていますか。トイレのスリッパをそろえるというのは、次に使う人のことを考えた思いやりのある行為です。この思いやりのある行為は、人の心を和らげてくれます。スリッパだけではありません。外にかけている掲示物を直す。落ちているごみを拾う。お年寄りや体の不自由な人に席を譲る。などなど他にもたくさんあるはずです。

## 2のことから言えること

これらの話には共通点がありますね。鬼=竜。それは心に潜む邪心です。他人のことを考えることができなくなった自分自身に潜む心です。みんなが気持ちよく過ごすことができるには、ふわふわ言葉と同じように他人のことを考えた温かい行動や心で接するにしなければならないことを言っているのではないでしょうか。